

# 赤水の生涯、PR映像

和泉元彌さん  
「案内役」

## 高萩市が製作、上映会

高萩市は、同市出身で江戸時代の地理学者、長久保赤水(ちくほく)(1717～1801年)の生涯と功績を伝えるプロモーション映像を製作し、22日、同市高萩の市文化会館で上映会を開いた。市民や関係者約230人が、学問や地図作成に対する赤水の情熱に思いをはせながら鑑賞した。

映像は和泉流狂言師の和泉元彌さんが「案内人」として市歴史民俗資料館を訪

れ、赤水が完成させた日本地図「改正日本輿地路程全図」(赤水図)などを見る

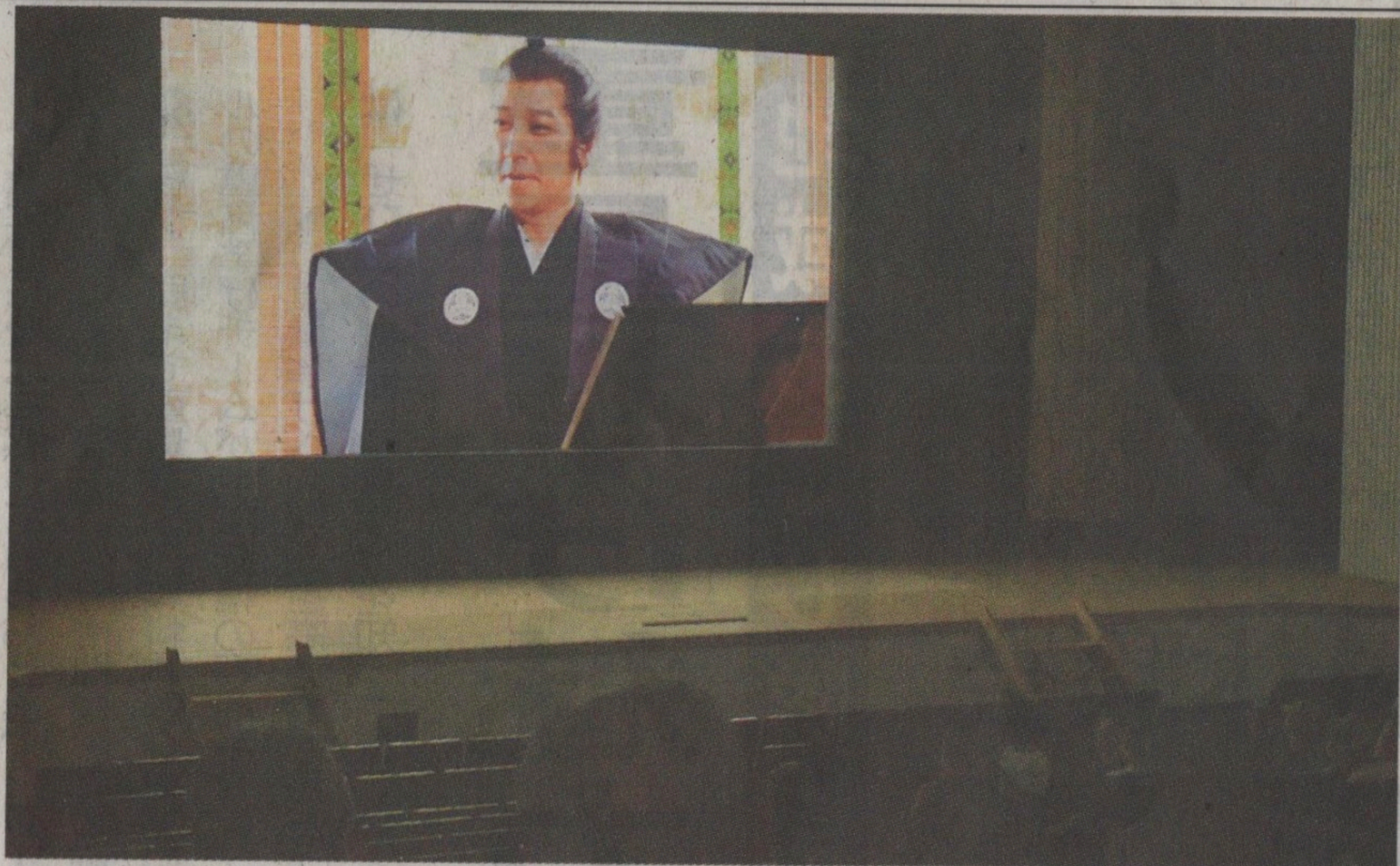
シーンから始まり、赤水の半生を描く再現ムービーに移る。成人してからの赤水も和泉さんが演じた。

本県に縁がある作品を数多く手掛けてきた松村克弥さんが監督を務めた。約50分の映像で、赤水が地図の完成にかけた努力や情熱、農民出身ながら水戸藩6代藩主、徳川治保の侍講に登用される軌跡を描いた。

市は7月以降、動画投稿サイト「YouTube(ユーチューブ)」での公開やDVD化を通し、赤水に対する認知の広がりや市のPRにつなげたい考え。

上映会を前に大部勝規市長は「赤水の功績と生きざまを通して多くの方に本市に興味を持っていただきたい」とあいさつ。この日は和泉さんや松村監督たちがトークショーを行う予定だったが、新型コロナウイルス

長久保赤水の生涯と功績を描いたプロモーション映像の上映会＝高萩市高萩



ス流行に伴う東京都の緊急事態宣言延長を受け、欠席した。

代わりに和泉さんが「赤水が生涯をかけて人々のために取り組んだ結果が時を超えて人の心を動かしている。映像が、今と未来を生きる若人と赤水が出会ったきっかけになることを願っている」とビデオメッセージを寄せた。

鑑賞した同市高浜町の石井博人さん(71)は「赤水について具体的に知ることができた。これを機にもっと調べてみたい」と話していた。(小原瑛平)